

事務事業評価シート

評価実施年度：平成30年度

上位の施策名称 施策Ⅲ-2-3
文化芸術の振興

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 文化国際課文化振興室長 柳樂ひとみ 電話番号 0852-22-6776

事務事業の名称	芸術・文化の情報発信・収集事業	
目的	(1) 対象	市町村、文化団体、文化施設、県民等
	(2) 意図	文化団体の財政基盤や情報基盤を強化するとともに、県民に文化情報を提供し、文化活動の展開を容易にする。
事業概要	・国等の芸術文化に対する助成情報等を収集し、広く県民に周知し、県内の芸術文化事業の育成を図る。	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	情報誌「キャッチ」発行部数				12,000.0	12,000.0	部
	式・定義	発行部数						
	実績値	12,000.0	12,000.0	12,000.0				
	達成率	-	-	-	-	-	-	%
2	指標名	一般財団法人地域創造による文化活動助成への県内申請件数				4.0	4.0	件
	式・定義	申請件数						
	実績値	4.0	4.0	4.0				
	達成率	-	-	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	11,162	10,821
うち一般財源 (千円)	90	86

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した(実施予定、一部実施含む)
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状(客観的事実・データなどに基づいた現状)

- ・国等の助成情報等は、市町村や文化団体、公立文化施設等の関連機関・団体に直接提供している。
 - ・地域創造の助成金申請は平成22年度以降、毎年度、平均4件の申請がある。
 - ・様々な助成事業を活用し、文化芸術に関わる人材育成の取り組みが行われている。
- (H29申請実績～自治総合センター：8件、日本芸術文化振興会：8件、エネルギー文化・スポーツ財団：26件、三井住友海上文化財団：3件 ほか)

6. 成果があったこと(改善されたこと)

各種助成事業に関する情報を市町村や文化団体等に周知することで、県内各地で文化・芸術的な活動が実施され、県民が文化芸術を鑑賞し、自ら参加する機会が増加した。また、県民の興味・関心を高め、機会を創出することにより、自主的・創造的な活動につながっている。

7. まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

①困っている「状況」

なし

②困っている状況が発生している「原因」

なし

③原因を解消するための「課題」

なし

8. 今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

- ・今後も国等の助成情報等を、速やかにかつ確認しやすい形で、市町村や文化団体、公立文化施設等の関連機関・団体に直接提供する。
- ・申請の可能性のある事案について、積極的に市町村等から情報提供してもらい、相談を受ける。
- ・各種助成事業の活用状況(申請や採択など)をフィードバックするなど、今後の取り組みの参考にしてもらい、引き続き助成事業を有効に活用する。